

学生企画型実践型海外派遣プログラム

募集要項

学生自身が企画する派遣プログラムへの参加者を以下のように募集します。本プログラムはグローバル理工人育成コースの一環として実施されます。本プログラムへの参加によりコース修了に必要な単位が付与されます。

1. プログラムの内容

本プログラムは活動内容を学生自身が企画して実施することとしており、この活動を通じ、グローバル理工人育成コース実践型海外派遣プログラムの育成をめざす能力の習得を期待するものである。

☆過去の報告書参照のこと⇒ <http://www.ghrd.titech.ac.jp/world/2017kikaku/>

- (1) **プログラムの形式** 大学（研究室・サークル）訪問，ボランティア，インターンシップ，企業訪問など自由に選択可。
異なる分野のメンバーで，幅広く捉えた1つの大きなテーマに取り組むのも可。

(2) 学生が企画する事柄

- 1) 訪問先：国，都市，大学，公共機関・施設，企業，NGO，コミュニティなど。
- 2) 現地での活動内容：授業参加，現地学生サークル・現地日本人などとの交流，企業見学，調査，村落体験，ホームステイ，コミュニティとの交流・訪問，インターンシップ，ボランティアなど。
- 3) 日程：派遣時期，派遣期間，活動地，宿泊地，毎日のスケジュールの時間割（派遣時期，派遣期間については後述の募集概要を参照）
- 4) 旅行手段：フライト，宿舎，現地移動手段

(3) 学生が渡航前に行うこと

- 1) 訪問希望先への依頼，交渉，アポイント取得
- 2) フライト，宿舎，現地交通手段の手配・予約

(4) グローバル人材育成推進支援室のかかわり

- 1) 教員・事務員の付き添いは行わない。学生のみでの現地派遣となる。
- 2) 事前準備進捗と現地活動状況の報告を受ける。
- 3) 安全性，教育的観点からの確認を行い，事前準備，渡航中，報告書作成等について，必要に応じて助言する。
- 4) 次のような場合には支援室が支援を行うことがある。
 - ①訪問先の大学・教員と正式な取り決めを行う必要がある場合など。
 - ②その他
- 5) 現地で緊急事態が発生した場合には大学が対応する。

(5) 準備期間中のグループ活動

3～5名で1グループを構成すること。派遣前の準備活動として以下のような活動を行うこと。

- 1) グループ内でリーダー、サブリーダーを始め役割分担を決める。
- 2) 現地派遣を含めた全体スケジュールを作成する。
- 3) プログラム内容を策定するために、グループ内で適度な頻度で打ち合わせを行い、アポイントの取得など、現地との連絡を取るなどの作業を行う。
- 4) 訪問するまでに、事前の調査や情報収集などを行う。
- 5) グローバル人材育成推進支援室に準備進捗状況を報告し、必要に応じて担当教員の指導を受ける。

(6) 科目と成績評価・単位

- 1) 科目は「グローバル理工人研修またはグローバル理工人研修入門」。
- 2) 帰国後は報告書を提出する。
- 3) 帰国報告会で発表する。(20分～30分程度)
- 4) 現地関係者(受入大学教員など)が、現地での活動内容を評価する場合がある。
- 5) 成績は、以上2)～4)と準備への貢献等を総合的に評価して決められる。
- 6) 付与される単位数は現地研修日数に応じて決定する(現地活動は最低8日間が必要)。

2. 募集概要

(1) 応募資格

グローバル理工人育成コースに所属し、国際意識醸成プログラム2単位を取得済の本学正規学士課程学生で、2年次生または3年次生とする。国籍・性別・学科は不問。

(2) グループの構成と応募

- 1) グループとして応募する。
- 2) グループ構成の人数は3～5名とする。
- 3) 男女混合の場合には、それぞれ2名以上の構成とする(健康問題が生じた場合などに備え)。
- 4) 海外渡航については、事前に保護者に危機管理等について十分相談し、了解を得ること。

(3) 派遣時期及び期間

- 1) 派遣時期は、2018年10月から準備を開始し、同年度春休みの派遣とする。
- 2) 派遣時期は、授業と重複しない日程とする。
- 3) 派遣期間は、実働8日以上とする。

(4) 費用

- 1) 金額は参加者自身が企画するプログラムの内容により決まる。
- 2) 大学の指定する海外旅行保険および危機管理サービスに加入する。

(5) 旅費支援

本プログラムは、独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)の奨学金(日本人学生)および東京工業大学130年基金(留学生)の対象とされる。一定の基準^(注)を満たした学生には旅費として6～10万円が支給される場合がある。(別途書類の提出が必要である。必要書類については、選考後のオリエンテーションにて説明される。) * 学内規定により国費留学生には奨学金が支給されない。

(6) 募集人数 1グループ(3～5名)

(7) 応募方法

- 1) 申込書, 企画書 (和文, 英文のいずれか) をグローバル人材育成推進支援室宛に提出。
- 2) 申込書はグループメンバー各自が作成する。グループメンバー全員で1つの企画書を作成する。メンバー全員の申込書と企画書をまとめて提出する。

(8) 選考方法 書類審査および面接による。

(9) 応募締切 2018年11月8日(木)

指導教員, アカデミックアドバイザー, または助言教員の承認を必ず得ること。

(10) 面接予定日時 2018年11月中旬

3. 企画書に記述すべき内容 (書式自由)

(1) 参加希望理由

グループメンバー各自が作成すること。各自 800 字以内。

(2) 企画するプログラムの内容

- 1) 目的
- 2) 内容
 - 訪問国とその選定理由
 - 訪問先とその概要および企画する活動の中身とねらい
 - 訪問先の受け入れの目途
 - 現地での仮日程 (訪問機関, 面会予定者, 移動経路, 宿泊地など)
 - 安全面への配慮

(3) 事前準備 (A4用紙2ページ程度)

- 1) 事前準備の項目と準備のスケジュール
- 2) 訪問先との連絡事項の主な内容, 調整・コミュニケーションの方法, 担当者名
- 3) 交通手段・宿泊先手配の方法
- 4) 各メンバーの役割分担 (リーダー, サブリーダーなど)

【問合せ・申請書提出先】

グローバル人材育成推進支援室 村上・鹿取
大岡山キャンパス 南6号館4階405号室 メールボックス: S6-13
電話: 03-5734-3520 / e-mail: ghrd.sien@jim.titech.ac.jp